

# 2020年4月 イーアイデム会員対象 アンケート結果

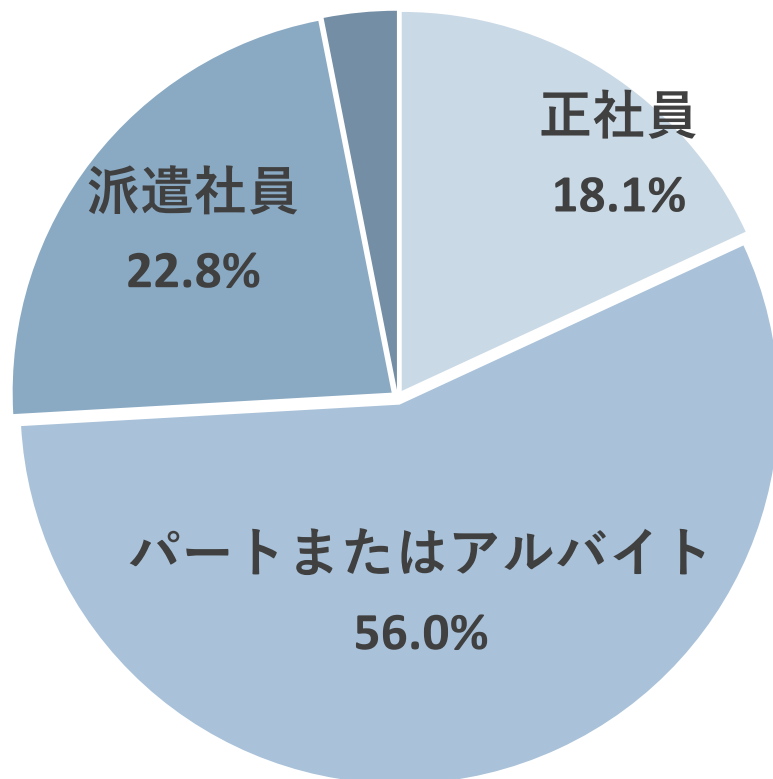
TOPIC : コロナウイルス感染症の影響について

株式会社アイデム  
東日本事業本部データリサーチチーム

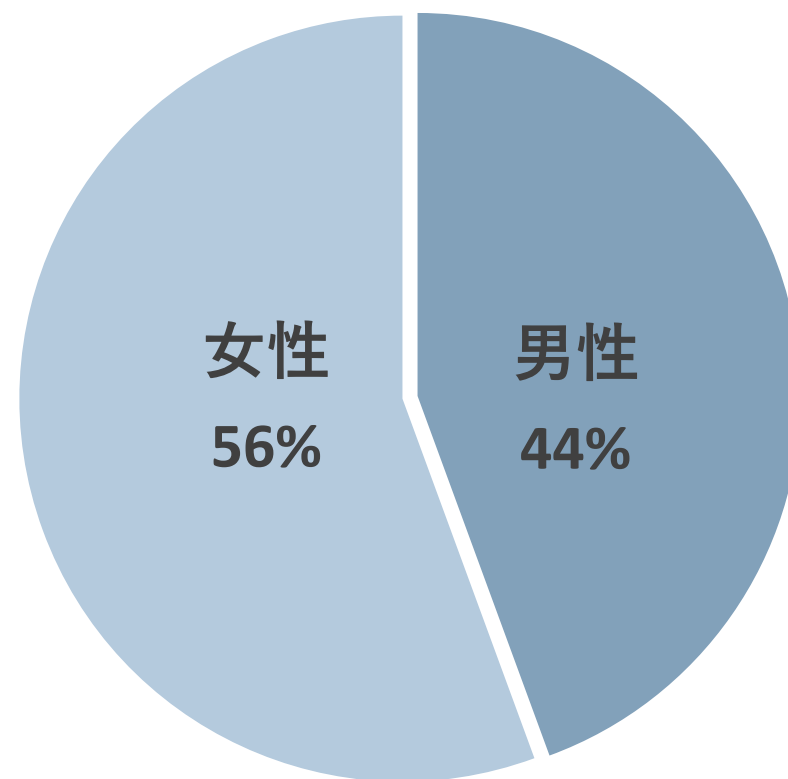
- 調査名
  - － 【イーアイデム会員限定】 お仕事探しに関するアンケート
- 調査目的
  - － 現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる
- 調査期間
  - － 2020/04/17～2020/05/08(22日間)
- 調査対象
  - － 総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2020/04/10～04/23の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人
- 調査方法
  - － インターネットリサーチ  
(株式会社マクロミル「クエスタント」を使用)
- 有効回答数
  - － 259件

### 希望している雇用形態

契約社員または嘱託社員 3.1%



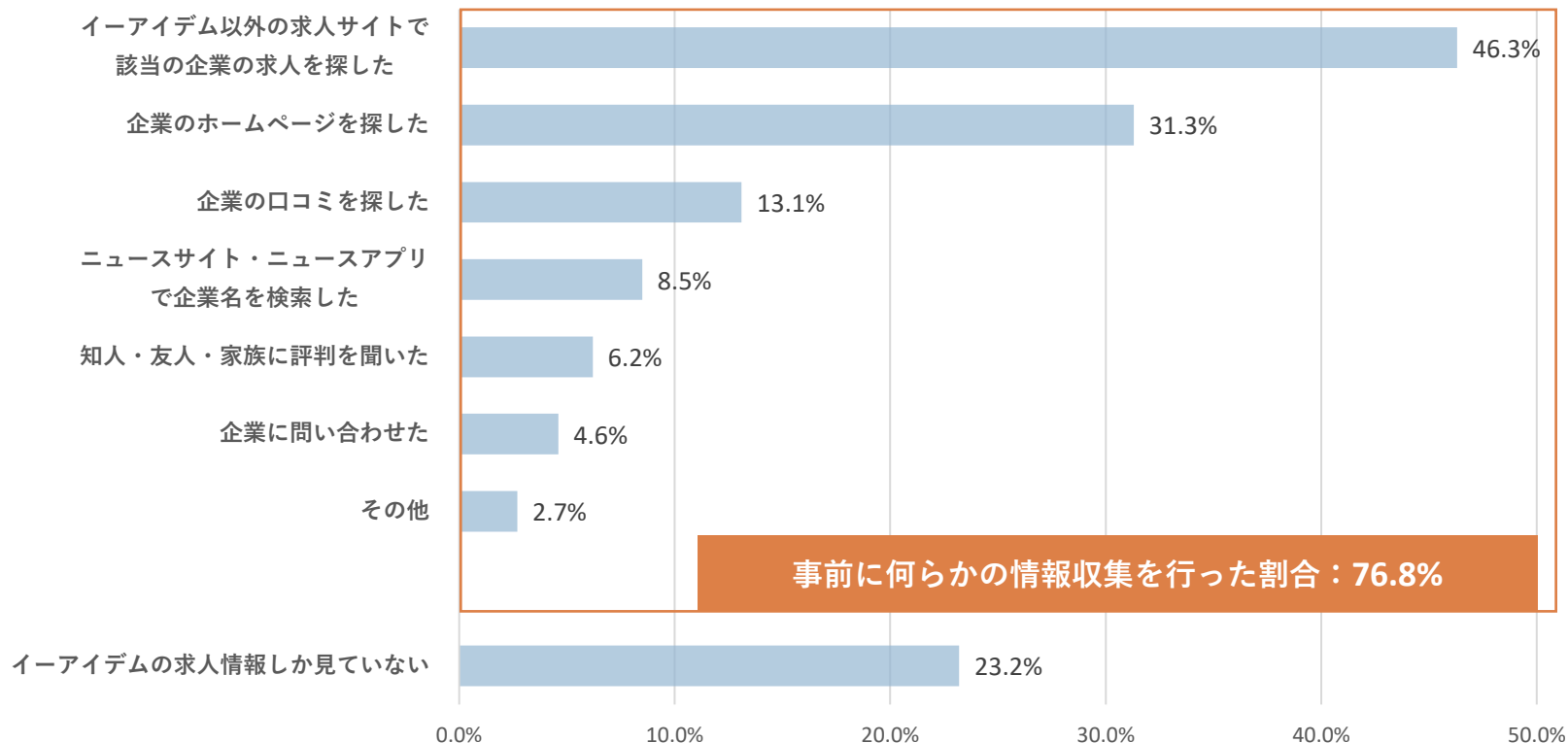
### 性別



イーアイデムから求人に応募した人に、応募する前に求人企業または求人情報に関する情報収集を行ったかどうかをきいた。

「イーアイデム以外の求人サイトで該当の企業の求人を探した」が46.3%、「企業のホームページを探した」が31.3%となった。

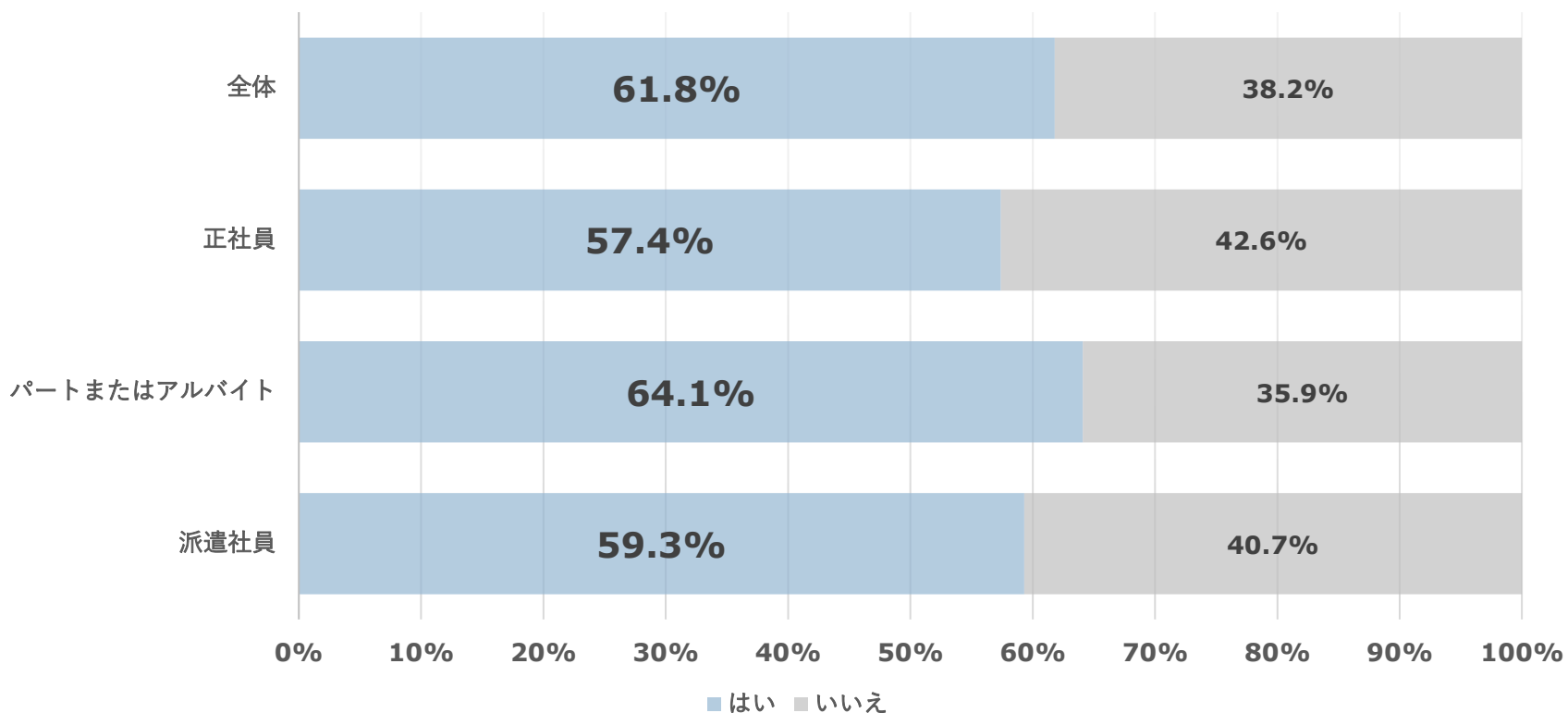
イーアイデムの求人情報以外に、何らかの情報を探した割合は76.8%となり、4人中3人は応募前に情報収集を行ったことが分かった。



イーアイデムから求人に応募した人に、今回仕事探しをしている理由に「新型コロナウイルス感染症の影響」は関連しているか聞いた。

全体で**61.8%**が「はい」と回答し、半数以上の回答者が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて仕事探しをしていたことが分かった。

希望雇用形態別にみると、特に「パートまたはアルバイト」を選択した回答者では、他の雇用形態希望者よりも新型コロナウイルス感染症の影響を受けて仕事探しをした割合が高い。



イーアイデムから求人に応募した人に「希望雇用形態を選んだ理由」を聞き、それと「今回の仕事探しにおける新型コロナウイルス感染症の影響有無」の関係を見た。

非正規雇用を希望する人に絞ってみると、「興味のある仕事はその雇用形態だったから」を選択した割合は、感染症の影響で仕事探しをしている人では27.1%、そうでない人では46.8%となった。

一方、「すぐに働き始めたかったから」を選択した割合は、感染症の影響で求職活動している人では50.4%、そうでない人では45.6%となった。

新型コロナウイルス感染症の影響で仕事探しをしている人では、いち早く職に就きたいという傾向がみられる。

